

さいたま市立大宮八幡中学校

〔学校教育目標〕心豊かでたくましい、

広い世界に生きる人間の育成

学校だより **きゃら**

「大宮八幡中学校の樹」

第5号

令和7年8月27日 発行



さいたま市見沼区大字南中丸357

TEL 048-687-8800

FAX 048-687-9301

他者理解

校長 下館 文雄

39日間の夏休みも過ぎてみればあっという間、勉強や部活動を頑張った人や家族と過ごす時間を大切にしたり人など、充実した夏休みを過ごせましたか。久しぶりの登校で緊張している人もいますかと思いますが、気持ち良いあいさつを交わし、あせらず自分のペースで学校生活に慣れてほしいと思います。

さて、今年戦後80年の節目の年を迎えました。広島で行われた平和記念式典には、過去最多となる120の国と地域から約5万5000人が参列し、私たちの住むさいたま市からも10名の中学生が参列しました。総務省の人口推移の統計によれば、国内において戦後生まれの割合は、9割に迫ろうとしております。つまり、戦中以前生まれの方々の割合が1割に減少しつつあるということです。先の大戦におけるこうした痛ましい記憶は、次第に風化しつつあると言われています。8月6日と8月9日に広島と長崎で平和祈念式典が開催され、その中での平和宣言のある言葉が私の心に残りました。広島市の松井市長は、「自分よりも他者の立場を重視する考え方を優先することが大切であり、そうすることで人類は多くの混乱や紛争を解決し、現在に至っているということです。」長崎市の鈴木市長は、「はじめの一步は、相手を知ることです。対話や交流を重ね、互いに理解し、小さな信頼を重ねていく。」2人とも相手のことを理解するということが大切にしており、広島市の松井市長は、「たとえ自分の意見と反対の人がいてもまずは話をしてみることが大事」とも言っています。

私たちには、平和の尊さや大切さを考え、語り継いでいく必要があるとともに価値観が多様化していく社会で生きていく上で自分とは異なる価値観や相手の立場に立って考えることが大切です。大宮八幡中学校には、477名の生徒が在籍しています。すなわち477通りの考え方や価値観があります。2学期は、文化発表会、合唱コンクール等、クラスや部活動で一致団結して取り組む機会が多くあります。相手の立場になって考え、一人ひとりが役割を果たし、力を合わせて取り組んでください。